

日本縦断への想い

新潟県 高橋 一

一度は参加を断念した「日本縦断走り旅」であったが身辺整理が何となくつきそうになったため改めて参加する決意をしました。

走り仲間である小池氏から『来年日本を縦断する大会があるがその試走会を年末年始にするので「九州縦断走り旅」に参加しないか』と無理矢理誘われたのが「日本縦断走り旅」を知るキッカケでした。

「九州縦断走り旅」では地図も良く読めない者が無鉄砲走りで「道に迷ったり」、「股ずれでまともに走れなくなったり」と連日走ることの怖さを教えて貰いました。ただ、見知らぬ土地を「自分の足」で巡れる楽しさを味わいましたが、正月のため休みの店が多く各地域の名物を食べるのが少なく残念でした。

また、今は事務局の森塚氏から送っていただいたお盆期間中に行われた「東北縦断の旅」のCDや参加者のコメントを見ながら羨ましく仕事でなければ自分も参加出来たのと思っています。

世界から見れば小さな日本ですがそれでも北から南まで3,000キロ以上に及ぶ長い距離を50日以上にかけて走る(歩く)ことは今までと違う非日常的な出来事が続き未知との遭遇を毎日のように味わえるのでないかと思っています。

ただ、毎日を走り(歩き)通せる体力や気力を備えていなければ他の参加者に迷惑をかけることになり自分を惨めにするだけになりそうでそれが心配です。

昨年、友達から「弟が自転車で日本一周をした」という話を聞き、賞賛の言葉をあげたものの羨ましが混じった気持ちでした。しかし、今度は「自分の足」だけで日本の季節の移り変わりを目にし、各地域の食べ物を味わい、その地域に住んでおられる人々の人情に触れることができるのが「日本縦断走り旅」と思い参加を希望しています。